

令和二年度 入学試験（令和元年12月14日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

ある小学校の教師から、昔話のような非合理で『荒唐無稽』な話を小学生に聞かせると、子どもたちが合理的に考えられなくなったり、現実を逃避してしまつて空想世界に逃げこむようなことになりませんか、と真剣に尋ねられたことがある。「打出の小槌」などという話をする時、子どもたちは打出の小槌で好きなものを出してくればよい、というので、熱心にはたらいたりしなくなるのではないかと危惧されるのである。

このことに対しての直接的な答は後で述べることにして、次のような事実注目してみよう。日本と西洋とを比較するとき、西洋の方が合理的思考に優れている、ということには誰しも同感するであろう。われわれ日本人は、西洋と日本とを比較して、文学としての「ファンタジー」作品について考えてみると、西洋の方がはるかに素晴らしいファンタジー作品をもっていることが解るのである。子どもの読むものに限定してみても、『ナルニア国物語』、『指輪物語』、『ゲド戦記』などという、まったく素晴らしい作品があちらには存在するのに対して、日本にもある程度のファンタジー作品はあるが、比較にならぬほど少なく、また内容的にも豊かではないのである。

一、日本の作者で子どものためのファンタジーの傑作を書いた人というと、宮沢賢治を思いつく人が多いと思うが、宮沢賢治は、よく知られているように、日本の作家には珍しく、極めて理科的な思考のできる人であった。筆者は、宮沢賢治が日本の作家にしては素晴らしいファンタジーを書いたことの一因として、彼が合理的思考法を身につけていたことがあげられると思っている。自分を対象から引き離し、対象化されたものを合理的に把握する力をもってこそ、ファンタジーの世界を創出できると思うのである。

以上のような事実から考えても、昔話とかファンタジーなどが、人間の非合理的態度を助長するものではないことが解るのである。実のところ、子どもたちはファンタジーはファンタジーとして楽しみつつ、それを現実と混同したりするようなことはしないのである。ウルトラマンの話に感激して、ウルトラマンごっこをし、空を飛んでいるつもりで走り回ったりはするが、本当に空が飛べると思つて、二階の窓から飛び出したりは決してしないのである。寺田寅彦はかつて、(A)物理学を研究するためには、ギリシャ神話を読むべきである、と言つたことである。「物理学」から見て、ギリシャ神話はまったく馬鹿げているなどという発想ではなく、あらゆる物理学の創造的思考の(あ)ホウカが、ギリシャ神話のなかに読みとることができる、というのが寺田寅彦の強調したいところなのである。II、自由想像力を羽ばたかせることが可能なものこそ、物理学の世界で新しい研究ができるというのである。

想像力というものは、あらゆる創造活動の源泉である。与えられた枠組内で思考するので

はなく、敢えてその枠を超えて想像力を(イ)飛翔させる。そこから創造的なものが生まれてくるのである。従って、一見するとまったく(ウ)相容れないことのようにだが、ファンタジーの壮大な体系をつくりあげる能力と、科学の新しい体系をつくり出す能力が平行的な関係にあり、西洋ではそのどちらもが盛んであるのに対して、日本ではどちらもあまり豊かに育たないのである。よく言われることだが、日本人は小さい改良や発見はするが、まったく新しい大発見とか、新しい科学体系をつくり出すことなどは苦手なのである。この点について、わが国の教育の在り方との関連で考えてみることにしよう。

わが国の教育においては、個性の(イ)シンチヨウとか創造性を身につけることなどが大いに重要視されている。それは、かけ声としては大であるが、実状においてはどうなっているであろうか。ちよつと、小学校のホームルームを覗いてみよう。ホームルームには確かに先生が背後に退き、生徒が運営し、すべてが自主的になされているように見える。しかし、少し注意深く見ると、すべては先生の意のままに動いていると言っているほどである。自主的に動いているはずの子どもたちは、先生の気持を「察して」、先生の好む方向に動いているのである。日本人は子どもの頃から、人の気持を察して、それに従って行動することを身につけているのである。しかも、このときに生徒はもとより、先生にもこのようなことが行われていることに自覚がなく、すべて「自主的」に運営されていると信じこんでいるならば、それは大きい問題と言わねばならない。

### (中略)

国語の時間に、バラについての詩の鑑賞がなされた。先生は「バラについて何を思いつきますか」と生徒に尋ね、一人の生徒が「バラにはとげがあります」と答えた。先生はバラの花の美しさのことばかり考えていたので、一瞬不愉快な顔になった。そのとたん、級の多くの生徒が、「トゲがある」と答えた子どもに嘲笑をあげせかけた。つまり、子どもたちは先生の気持を察して、その子を「笑い者」にすることによって、その場からはずしてしまったのである。このとき、先生はその子に直接に(ウ)ヒナンを浴びせなくとも、その子はひどく傷つくか、のけ者にされる危険を強く感じるか、どちらにしる、その後は自分の意見や考えをすぐに言うのではなく、先生の考えや、皆の心の動きの方に自分を合わせることを重要と思うようになるだろう。このようなことの日々の積み重ねによって、われわれは子ども個人の芽を知らず知らずのうちに摘み取っているのである。

このような傾向を(イ)する大きい因子として、現在の試験の在り方も無視できないであろう。問題に対する「正解」が既に与えられていて、それをできるかぎり速く選択することが要請される場合、それがどれほど想像力の飛翔を排除するものとなるかは、すぐに了解できるであろう。筆者の雑文も時には大学入試に使用されたり、予備校の模擬試験に登場したりしている。そこで、「ここで作者の真の意図はどのようなことであつたか」などという設問がなされ、四つ、五つの文章があつて、「正解」を探さねばならない。その「正解」を読んで、筆者もなるほど私の真の意図はこれだったのかと解って感激させられることが多いのだが、その答の当否よりも、このような設問に慣らされることの方が大問題ではなからうか。ある受験生はこのような問題を解く「(エ)ヒケツ」として、「なるべく自分で考えず、常識的にはどうなるだろうと考えてみる」ことだと述べたことがある。確かにそれはひ

とつもの（え）ヒケツであるうが、それはまさに、その個人の想像力の翼をもぎとることではなからうか。

このことに対してはもつと他の重圧がかかってくる。日本の母性社会においては、「一様序列性」ということが極めて大切である。個性を尊重すれば、個々人はそれぞれ固有の価値をもつし、価値判断も多様化する。Ⅳ、日本では、すべての人間に一様の序列をつけることが必要なのである。従って、高校生にとっては、共通一次の点数が強烈な序列づけの意味をもってくることになる。あるいは、小学生、中学生にとっては、標準テストの点数が人間的価値の唯一のスケールとなってくるのである。

教師も親も子も、この重みにはなかなか（五）抗し難い。そこにはがっちりとした順序づけが成立してしまつて、そこをはみ出してゆく想像力のはいりこむ余地がないのである。そして、標準テスト自身はよく精錬され、客観テストとしてはなかなかよく出来ているので、ひとりの教師がそれに対抗し得るものが簡単にはつくれないように出来ている。しかし、ここで教師は標準テストにのみ頼るのではなく、教師の個性と、生徒の個性がぶつかるテストや課題を考える努力をしてはどうであろうか。これは大変難しいことであるが、個々の教師の工夫によつて解決が見つかつてくるのではなからうか。生徒の想像力を育てるためには、教師の想像力が必要なのである。教師は生徒に対して課題やテストを与えるとき、そこに自分自身の想像力が生かされているかを反省すべきである。いつも、おきまりの問とおきまりの「正解」を用意して、生徒に接しては、生徒の想像力がしぼんでゆくのも当然のことと言わねばならない。

（B）子どもの想像力を弱める要素として、現在の物質的な豊かさをあげることができる。その背後に強力にはたらいているものは、あくまで既に述べた日本人の母性なのであるが、それが物質的豊かさのためにますます強化されているのである。たとえば、子どもに与える玩具をとつてみても、ますます精巧なものになっているので、そこに想像力のはいりこむ余地が少なくなつてしまつているのである。ラジコンで精密に動くロボットはロボットでもあり得ない。ところが、木でできた素朴な人形は、いろいろなものに子どもの想像力ともに変化するのである。このことに、日本的序列性の（お）カンネンが加わつてくると、隣の子どもの玩具とうちの子の玩具は、どちらが精密か、どちらが高価であるか、ということに重点がかかってくる。「お金」というものは、すべてのものを一様に順序づける（オ）魔性をもっている。その玩具は誰から貰つたのか、いつ貰つたのか、そんなことにお構いなく、値段の高低によつて順序づけられる。しかも、困つたことに現在の経済状況では、親は相当に高価なものを子どもに買ってやれるのである。そして、親たちは立派な、つまり高価な玩具を与える競争をすることによつて、自分の子どもたちの想像力を奪つていることに気づかず居るのである。

問一、 傍線部(あ)く(お)のカタカナを漢字に直しなさい。

【記述式解答】

- (あ) ホウガ (い) シンチョウ (う) ヒナン (え) ヒケツ  
(お) カンネン

問二、 傍線部(ア)く(オ)の漢字の読みをひらがなで記しなさい。

【記述式解答】

- (ア) 荒唐無稽 (イ) 飛翔 (ウ) 相容(れない) (エ) 抗(し)  
(オ) 魔性

問三、 第一段落について。筆者は「打出の小槌」のような話を子どもにしてもそれによって子どもが「現実を逃避」して「空想世界に逃げ込む」ことはないと述べているが、その理由をもっともよく説明しているものを一つ選びなさい。 【解答番号1】

1. 打出の小槌の話をして、これは作り話であるため、実際には有り得ないと子どもによく言い聞かせるから。
2. ファンタジー童話を多く書いた宮沢賢治は、理科的な思考ができる人であり、自分の書いたものは現実とは異なることを客観的に理解していたから。
3. 子どもたちはウルトラマンごっこをしても、実際に空を飛べることはないという事実を理解していることからわかるように、彼らはファンタジーはファンタジーとして楽しみつつ、現実と混同することはないため。
4. 本来昔話やファンタジーは、人間の非合理的態度を助長するものではないため。

問四、 空欄 ㊦ に入る表現としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号2】

1. しかし
2. あるいは
3. ところで
4. とはいえ

問五、 傍線部(A)「物理学を研究するためには、ギリシャ神話を読むべきである」とあるが、この寺田寅彦の主張を最もよく表しているものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号3】

1. ギリシャ神話は一見荒唐無稽な神々の物語であるが、その中に様々な真理が含まれている。
2. ギリシャ神話は、古代ギリシャ人が自由に想像力を働かせて考え出したものであるため、このような自由な思考によって新たな認識を得ることができる。

3. ギリシヤ神話では、古代ギリシヤ人が神話の形で現代の物理学の認識を予言している。

4. ギリシヤ神話は古代ギリシヤ人にとっては森羅万象がすべて説明できるものであった。この思考法は現代の物理学の思考法にも応用できる。

問六、  
空欄  に入る表現としてもっとも適切なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号4】

1. しかし
2. そこで
3. ただし
4. つまり

問七、  
空欄  に入る表現としてもっとも適切なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号5】

1. 肯定
2. 排除
3. 証明
4. 助長

問八、  
空欄  に入る表現としてもっとも適切なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号6】

1. もっとも
2. しかし
3. そのため
4. なるほど

問九、  
傍線部（B）「子どもの想像力を弱める要素」とあるが、この語句を最もよく説明しているものを次の1～4から選びなさい。 【解答番号7】

1. 物質の豊かさの背後で、子どもの想像力を弱める元凶である日本人の母性が強力にはたらくようになったこと。
2. 物質的な豊かさのため、日本的序列性の観念が強くなり、それが子どもの想像力に悪影響を与えていること。
3. 豊かになったため、お金の持つ魔力により、玩具がその値段によって順序づけられ、子どもの想像力の入り込む余地が少なくなったこと。
4. 豊かさのため、親は子どもに既成の精巧なロボットや多様な人形を与えられるようになり、以前のような子どもの想像力をかきたてる素朴な玩具が少なくなっていること。

問十、著者の主張を表しているものを次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

1. 日本では、すべての人間に一樣の序列をつけることが必要である。
2. バラについての詩を児童に鑑賞させるとき、花の美しさに気づかず、「バラにはとげがあります」などと言う子どもがいたら、想像力をはたらかせてバラの美しさを味わうことができるように指導すべきである。
3. 我が国の教育においては、個性の伸長や創造性を身につけることが重要視されているが、実状は必ずしもそうではない。
4. 日本と西洋とを比較すると、西洋の方が合理的思考には優れているが、「ファンタジー」作品を生み出す能力は東洋の方が優れている。

二、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

「安全側」という言葉を、理系の人はよく用いる。この言葉の反対は、もちろん「危険側」である。これから訪ねるところへお土産を持っていくとしよう。ケーキの4個セットにするか、それとも6個セットにするかをお店で迷ったとき、「まあ、6個の方が安全側だね」と言ってしまう。4個では足りない可能性が高くなるから、危険側だという判断だ。

へ a へ、そのケーキがもの凄く高価な場合には、自分の財布にとっては、4個の方が明らかに安全側だ。へ b へ、科学者は、恥をかく危険性と、現金が少なくなる危険性をなんらかの変換係数を用いて処理し、同じ数字で比べられるようにするだろう。へ c へ、やはりトータルとして安全側が選ばれる、というわけである。

へ d へ、科学というものは、印象や直感でできるだけ排除し、可能なかぎり客観的に現実を捉えようとする。へ e へ、人間、人生、あるいは社会に利益がもたらされる、と考えられるからだ。科学の目的は、すべて人間の幸せにある。

(森博嗣『科学的とはどういう意味か』幻冬舎新書、2011より)

空欄へ a へ e へに入ることばとしてもつとも適当なものを、次の1～4からそれぞれ選びなさい。

- |       |            |         |         |         |          |
|-------|------------|---------|---------|---------|----------|
| へ a へ | 1. あるいは    | 2. しかし  | 3. そのため | 4. なお   | 【解答番号9】  |
| へ b へ | 1. かといって   | 2. やはり  | 3. そこで  | 4. むしろ  | 【解答番号10】 |
| へ c へ | 1. あるいは    | 2. また   | 3. ところが | 4. その結果 | 【解答番号11】 |
| へ d へ | 1. このように   | 2. また   | 3. つまり  | 4. 第一   | 【解答番号12】 |
| へ e へ | 1. そうすることで | 2. その結果 | 3. つまり  | 4. それは  | 【解答番号13】 |

三、次の空欄「 」に入ることばとしてもっとも適当なものを、1～4からそれぞれ選びなさい。 【解答番号 14～17】

14. とつさに思い付いたアイデアを提案したら、「 」で商品化されることになった。

1. 瓢箪から駒
2. 手前味噌
3. 以心伝心
4. なしのつぶて

15. 彼女のあたたかい言葉は「 」に触れた。

1. 逆鱗
2. 機微
3. 琴線
4. 癩

16. 新入社員にビジネスマナーを教えたが、「 」でメモも取らないのにはあきれた。

1. 壁に穴
2. 糠に釘
3. 猫に小判
4. 鉄砲玉

17. 山田さんとは、若いころ「 」釜の飯を食った仲だ。

1. 昨日の
2. 他人の
3. 一つ
4. 臭い

四、次のことばの使い方としてもっとも適当なものを、1～4からそれぞれ選びなさい。 【解答番号 18～20】

18. **ガイドライン**

1. 災害によってガイドラインが途絶えた。
2. 先端医療のガイドライン策定が審議される。
3. その車はガイドラインぎりぎりです試験に合格した。
4. 旅先ではガイドラインがとても役立った。

19. **示唆**

1. この薬は必ず医師の示唆に従って服用してください。
2. 現場監督は「この工事現場は作業員が示唆を守らないので困っている」と述べた。
3. 最近実施された減税は、大幅な税収不足に陥る可能性を示唆している。
4. 首相は今後の自然災害への対応のため、新たな災害防止対策を策定するよう示唆した。

20. **閑古鳥**

1. この島は閑古鳥が生息しているので有名だ。
2. 駅前の百貨店は立地の良さで連日閑古鳥だ。
3. この遊園地はかつて大勢の人でにぎわったが、今は閑古鳥が鳴いている。
4. 鳥かごの中の閑古鳥は美しい声で鳴く。